

【用語集】

スライド1 枚目

用語集

目次

e ラーニング

位置情報サービス（GPS）

ウイルス

HTML メール

SNS

個人情報

スマートフォン

ダウンロード

タブレット

チェーンメール

デジタルコンテンツ

ファイアーウォール

フィッシング詐欺

プライバシーポリシー

ブログ

マイクロブログ

URL

スライド2 枚目

e ラーニング

インターネットを使った学習のこと。インターネット上に教材があるだけでなく、他の学習者や先生とコミュニケーションできる場合も多い。

ポイント

特徴

いつでも、どこでも、自分のペースで学習できる

基本的な知識を定着させたり、反復学習を行うのに便利

注意点

一人で学習すると、孤独感を感じることもある

スライド 3 枚目

位置情報サービス (GPS)

人工衛星からの信号を利用して、今いる場所を特定して地図上で把握できるサービス。GPS とは、グローバル・ポジショニング・システム（全地球測位システム）のこと。

ポイント

特徴

地図として使われている

目的地までの経路案内ができる

注意点

場所によっては通信できない場合もある

全ての場所を正確に特定できるわけではない

自分のいる場所が他人に漏れる可能性がある

スライド 4 枚目

ウイルス

悪意を持った人が、他人のコンピュータに悪影響を与えるために作ったプログラム。

ポイント

特徴

画面の表示をおかしくしたり、コンピュータに入っているデータを壊したりする

インターネットからダウンロードしたファイル、他人から借りた USB メモリ、または e メールなどを通じて感染する

注意点

多くの場合、使用者の知らないうちに感染する

他のコンピュータにウイルスを感染させる危険性もある

ウイルス対策ソフトを導入する必要がある

スライド 5 枚目

HTML メール

Web サイトのように、文字に装飾を入れたり、画像を表示できる形式のメールのこと。

ポイント

特徴

レイアウトや文字の大きさや色、字体などを変えることで、内容をわかりやすく伝えることができる

注意点

HTML メールはウイルスに感染しているものもあり、そのメールを開いただけでトラブルを起こす可能性がある

スライド 6 枚目

SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型の Web サイト。

ポイント

特徴

遠くに住む友人や連絡を取っていなかった人と、つながりを持つことができる

災害時など、電話やメールがつながらないときには、安否連絡にも使える

代表例は、Facebook や mixi 等

注意点

他者のプライバシーの尊重や自分の情報管理などをしっかりしなければ、個人情報がもれたり人間関係のトラブルを招くことがある

スライド 7 枚目

個人情報

一人一人が持つ個人に関する情報。たとえば、氏名、生年月日、今住んでいる場所など。

ポイント

特徴

コンピュータ上で管理されることが増えている

注意点

インターネットを通して個人情報がもれる危険性がある

スライド 8 枚目

スマートフォン

コンピュータの機能を持っている携帯電話。従来の携帯端末に電話や通信の機能を加えたもの。略して「スマホ」。指で画面を触って（タップして）、操作できる。

ポイント

特徴

電話もカメラもインターネットもスマホ一台でできる

道に迷っても、どこにいるかがすぐ調べられる

いつでも調べ物ができる

注意点

小さなパソコンと同じで、セキュリティ対策が重要

個人情報をもれる危険がある

スライド 9 枚目

ダウンロード

インターネット上のデータファイルを自分のコンピュータに保存すること。

ポイント

特徴

データの大きさや通信回線によって、ダウンロードにかかる時間は異なる

自分のコンピュータからインターネット上にファイルを送信することを「アップロード」という。

注意点

ウイルスに感染しているファイルもあるため、出所を確認してからダウンロードすることが大切である

スライド 10 枚目

タブレット（多機能携帯端末）

うすい板状のコンピュータ。指や専用のペンで画面を触って（タップして）操作できる。

大きさは、雑誌程度。

ポイント

特徴

基本的に電話機能はないが、無線 LAN 等を使えば会話（テレビ電話等）もできる

キーボード入力や音声入力もできる

様々なアプリケーション（アプリ）を使うことができる

注意点

小さなパソコンと同じで、セキュリティ対策が重要

スライド 11 枚目

チェーンメール

不特定多数の人にメールの転送を要求するメール。

ポイント

特徴

善意をよそおったものなど、様々な内容のものがある

最近、人を怖がらせることで、すぐに多くの人にメールを転送させる、メール版「不幸の手紙」ともいうべき悪質なチェーンメールが広く出回っている

注意点

転送してしまうと、悪事に荷担する可能性がある

スライド 12 枚目

デジタルコンテンツ

文章、音楽、画像、映像などをデジタル化（電子化）したもの。

ポイント

特徴

インターネット上で瞬時に情報を入手できる

デジタルデータなので、複製しても劣化しない

注意点

複製が容易なため、不正コピーが増えている

ウイルスに感染している場合があるため、違法サイトのデジタルコンテンツは特に危険

スライド 13 枚目

ファイアーウォール

インターネットを経由した不正な通信を防ぐための仕組み。

ポイント

特徴

多くの場合はソフトウェアの形で提供され、コンピュータに組みこんで使用する

設定されたルールに反する不正な通信を防ぐ

注意点

設定されたルールに反しなければ、不正な通信でも防げない

スライド 14 枚目

フィッシング詐欺

使用者のパスワード情報やクレジット情報などを盗む詐欺のこと。

ポイント

特徴

実際にある会社のふりをした偽メール・案内が送られてきて、誘導される通りに個人情報を入力してしまい、送信者（詐欺をしている人）に個人情報がわたってしまう。

注意点

個人情報を安易に入力しない

信頼できるウェブサイトかどうかを確認する

スライド 15 枚目

プライバシーポリシー

会社などが決める、集めた個人情報の取り扱いについての指針。一般に、インターネットのウェブサイトなどで会社などの連絡先とともに公開される。

ポイント

注意点

プライバシーポリシーは企業や運営主体によって様々なので、自分の情報を守るためには、よく読んで確認しなければならない

スライド 16 枚目

ブログ

日々更新できる日記のようなウェブサイトのこと。

ポイント

特徴

多くの場合、ブログを書く人は思うままに日常を書いている

「コメント欄」を利用すれば、ブログを書いている人と読み手とがやりとりができる

注意点

書かれている内容が正しいとは限らない

ブログに書く内容は自由だが、「公の場」での発言であることを考えて書く必要がある

スライド 17 枚目

マイクロブログ

多くの場合、一度の投稿で 140 字程度の短い文章を書き込むブログのこと。

ポイント

特徴

「今」思ったことをリアルタイムで発信することが多い

代表例は、Twitter（ツイッター） 等

注意点

書かれている内容が正しいとは限らない

発信した内容は、一瞬にして世界中に広まる可能性がある

何気ない一言が他の人のプライバシーを侵害する可能性がある

スライド 18 枚目

URL

URL とは、Web サイトのアドレス（住所）のこと。「ホームページ・アドレス」や「Web アドレス」などとも呼ばれる。

ポイント

注意点

にせものの Web サイト* を見分けるときには、URL を慎重に確認すること

Web サイトの見かけを本物とそっくりにすることはできても、URL を同じにすることはできない

注：詐欺などのために本物そっくりに作った偽物の Web サイトが存在します。そのようなページにパスワードなどを入力すると、個人情報が漏れる場合があります。